※令和４年度以降入学生用

学校番号	1206

令和５年度　デュアル科

教科	デュアル	科目	(学)デュアル実習Ａ	単位数	６単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	実習日誌、プリントなど						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

卒業後に社会で必要となる正しい仕事観や基本的なコミュニケーション能力を身につけるための授業です。学校での学びと実社会での実習での学びを関連付け、社会の一員としてどのような能力が必要かを知り、実践しながら、学習を進めていきます。
学校での学びだけでも、実習での学びだけでも成り立たない授業のため、できる限り休むことなく授業を受ける必要があります。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
実社会で働くうえで必要となる仕事観、他者と関わるうえで必要となる基本的なコミュニケーション方法の知識を深め、それらを適切に活用する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】
提示された課題の本質や問題点は何かを思考し、問題解決のために必要な選択を判断し、それを他者に分かりやすく表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】
実社会で必要とされる知識及び技能を身に付ける活動に主体的に取り組む姿勢を持つ。様々な問題解決に向けて他者と関わり、協働的に取り組むことができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・実習や学校の授業で知った社会で必要とされる知識を身につける。 ・グループワークを通して、積極的にコミュニケーションを行い、議論をする。	・考えたことをまとめ、文書や発表で表現することができる。 ・調べたことや話し合ったことをスライドなどを用いて適切に発表する。 ・自分の考えと他者の考えをまとめる。	・積極的に実習に参加し、自らの学びに結び付けようとしている。 ・積極的にグループワークなど学校での学習に参加しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	実習に行こう	・実習を行くうえで必要な能力を身につける。 ―打ち合わせに行こう ―電話をかけよう ―実習に行こう	a:実習で気づいた、社会で必要な能力を言葉でまとめることができている。 b:学校の学習で知った知識を実際に使って、自立した社会の一員としての「自分」を表現できている。 c:実社会での経験を、自らの学びに結び付けようとしている。	日誌	実践 プリント	取組態度
2	実習での学びを振り返ろう	・前期での実習を振り返り、次の実習で生かすべきことを考える。 ―実習の学びを進路に生かそう ―後期の実習準備をしよう	a: 実習で気づいた、社会で必要な能力を言葉でまとめることができている。 b:実習や学校の学習で身につけた知識・能力を使って、自らの今後の進路活動の中で表現できている。 c: 実社会での経験を、自らの学びに結び付けようとしている。	日誌	実践 プリント	取組態度
3	実習での学びをまとめよう	・1 年間の実習をまとめ、3 年次や卒業までに身につけるべき能力を考える。 ―私たちのデュアル実習を紹介しよう ―理想の「社会人」を考えよう	a: 実習で気づいた、社会で必要な能力を言葉でまとめることができている。 b:実習や学校の学習で身につけた知識・能力を、ほかの生徒と協働してまとめ、自らの学びを表現することができている。 c: 実社会での経験を、自らの学びに結び付けようとしている。	日誌	実践 プリント	取組態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度